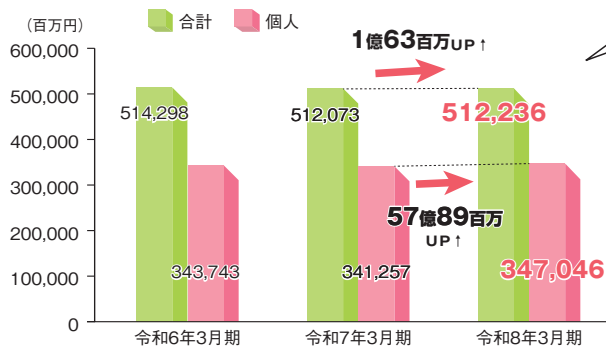




令和7年度の 業績ハイライト

預金・貸出金の状況

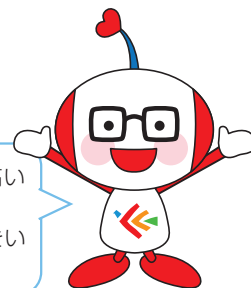
預金について



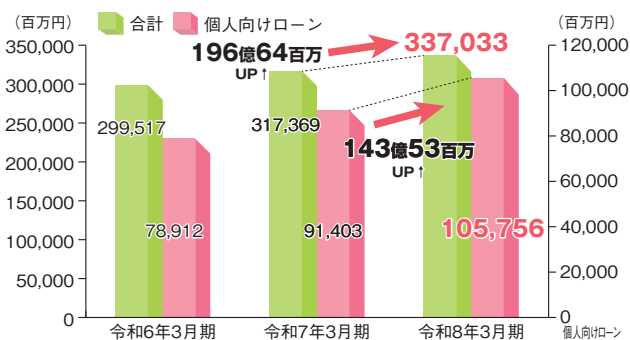
5,122億円
前年比+1億円

Good!

預金積金は総額、個人預金ともに高い水準を維持しているよ！
地域のお客さまから継続して信頼をいただいている証だね。



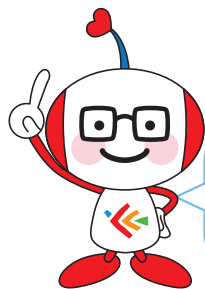
貸出金について



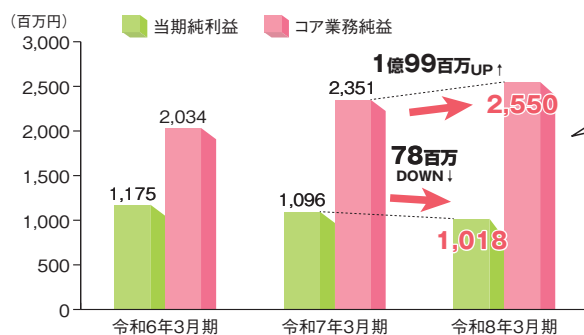
3,370億円
前年比+196億円

Good!

貸出金は、13期連続でアップしたよ！
個人のお客さまからのローン借入残高も大きく伸びているね。



収益の状況



25億円
前年比+1億円

Good!

コア業務純益は、融資推進による貸出金利息収入の増加のお陰で、昨年よりアップしたよ。



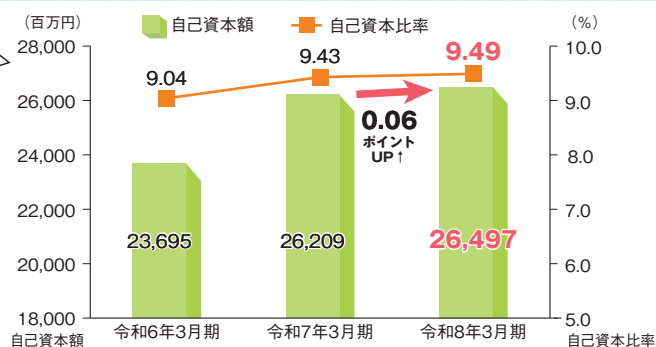
自己資本の状況



Good!

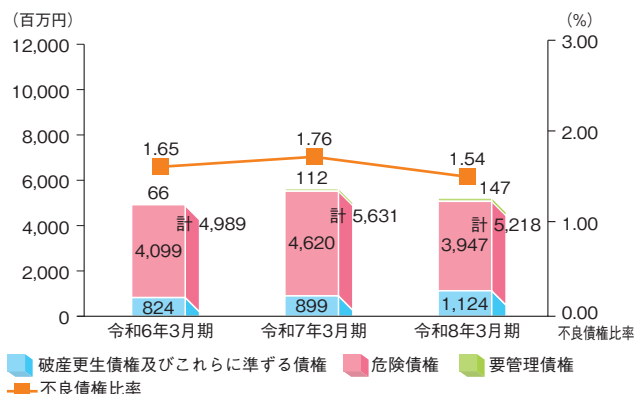
自己資本は、組合員の皆さまからの出資金や当期純利益などの積み上げの結果です。
けんしんの自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る水準を維持し、高い健全性を確保しているね！

9.49%
前年比+0.06%



資産の健全性について

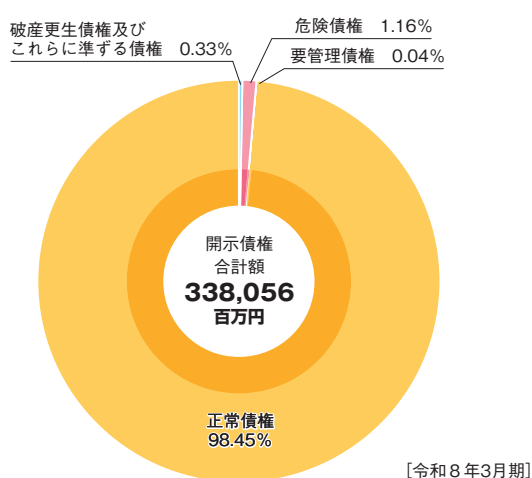
金融再生法上の不良債権比率と不良債権額の推移



お取引先の財務内容や経営状況等をもとに区分する資産の査定を行っており、この厳格な資産の自己査定の実施により、貸倒損失に備えた適正な引当金等を計上し、充分な保全を行っております。

なお、要管理債権(3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権)については、正常債権よりリスクは高く、その管理に注意を要するものですが、全てが回収不能債権となるものではなく、当組合による改善支援とお取引先の自助努力により、経営改善が図られるよう積極的な取り組みを行っております。

金融再生法上の開示債権構成比



用語解説

業務純益・コア業務純益

業務純益とは、金融機関が本来業務でどれだけの利益をあげたかを示す収益指標で、一般企業の「営業利益」に該当します。

コア業務純益とは、業務純益から一時的な変動要因を控除したもので、金融機関本来業務の収益力をより反映したものです。

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} - \text{債券関係損益} + \text{一般貸倒引当金繰入}$$

自己資本比率

自己資本比率は、金融機関の健全性を示す重要な指標であり、貸出金や有価証券等のリスク資産(リスク・アセット)に対する出資金や内部留保、引当金等の自己資本の占める割合を示す数値です。国内のみで業務を行う金融機関は4%以上の水準を維持することが求められております。



主要な経営指標の推移

主要な経営指標の5カ年推移は次のとおりです。

(単位：百万円)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収益	6,284	6,819	7,284	7,324	9,244
経常利益(損失)	728	1,842	1,546	1,296	1,611
当期純利益(損失)	681	1,810	1,175	1,096	1,018
預金積金残高	485,121	501,917	514,298	512,073	512,236
貸出金残高	270,149	276,969	299,517	317,369	337,033
有価証券残高	101,439	116,324	104,236	108,292	99,970
総資産額	543,350	538,357	539,896	537,745	537,431
純資産額	21,035	21,195	22,011	22,103	20,553
自己資本比率(単体)	9.01%	9.20%	9.04%	9.43%	9.49%
出資総額	13,938	14,091	13,969	15,359	14,616
出資総口数	139,384千口	140,917千口	139,695千口	153,596千口	146,167千口
出資に対する配当金	108	111	112	150	195
職員数	401人	412人	399人	403人	393人